

## 環境教育関係事業について

### 環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

- 人材の育成
- 情報の共有・活用
- プログラムの作成
- 機会づくり・場づくり

### 主な事業実施状況（H24 年度）

#### ◆エネルギーに関する環境教育の推進

学校においてエネルギーや CO<sub>2</sub> について体感し、学び考えることができる設備整備（見える化）を行います。この設備を活用し、子どもたちのエネルギーに関する意識を醸成し、自発的に行動できる人材を育成することを目的とするほか、学校を拠点として、子どもたちから家庭へ、また、学校との連携により地域へ、省エネ意識・省エネ行動等、環境配慮行動の波及につなげることを目指しています。

24 年度に新たに 1 校の設備整備を行い、今後は、整備校における「見える化」設備の活用を踏まえ、実践的エネルギー学習の他校への拡大を図ります。

#### ◆かんきょう元気新聞

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成 24 年度夏号（第 10 号）は、「節電」をテーマとして、市内小中学校、児童会館へ、配布しました。（次号は、12 月上旬発行予定）

#### ◆かんきょうみらいカップ 2012

フットサルなどのスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ 2012」を開催しました。

フットサルや環境クイズ、リレーゲーム「みんなで省エネリレー」のほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

日時・場所：7 月 26 日（木）札幌サッカーアミューズメントパーク

参加人数：約 480 人（64 チーム）

当日高得点を獲得した上位 8 チームは、11 月 17 日の「コンサドーレ札幌 対 サガン鳥栖戦」（札幌ドーム）のカーテンレザーマッチに出場します。

#### ◆さっぽろこども環境コンテスト

小中学生を対象にした、環境活動コンテスト「さっぽろこども環境コンテスト 2012」を、12 月 1 日（土）に札幌エルプラザで開催します。今年度は 5 回目の開催となります。

発表団体：小学生の部 5 団体・中学生の部 5 団体（計 10 団体）を予定

## ◆総合的環境副教材・教師用手引書

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」について、平成 25 年度配布版として改訂・各学校に配布を予定しています。

## ◆校外学習用バス貸出

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象として環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
応募校数	71 校	77 校	71 校	107 校	129 校	114 校
利用校数	43 校	54 校	69 校	88 校	70 校	61 校
バス利用台数	94 台	115 台	152 台	184 台	153 台	132 台

※ 校数・バス利用台数はのべ数、H24 年度は、予定数

※ 平成 19 年度事業開始。平成 21 年度から対象を中学校も対象。

## ◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣

「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

【派遣実績（件数） ※（ ）内は参加人数】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
環境教育リーダー <登録者数 30 人>	44 件 (2311 人)	55 件 (2415 人)	74 件 ※ (3717 人)	12 件 ※ (1292 人)
環境保全アドバイザー <登録者数 19 人>	26 件 (2024 人)	37 件 (2087 人)	33 件 ※ (2498 人)	19 件 ※ (1084 人)

※ 平成 24 年 6 月末現在

## ◆環境に関する学習活動・研究実践校（モデル 7 校）

環境をテーマにした先進的な取組（例：評価に位置づけた環境をテーマにした学習活動、地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、児童会・生徒会・地域の保護者を活用した学習活動等）を各モデル校が実践研究を行い、その成果を各学校に普及啓発していきます。

## ◆環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成 17 年 5 月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成 24 年度は、49 の小中学校に、小型光電池や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。（現在の協力企業は 8 社）